

事務事業 No./名称	□サービス部門 会計-01 会計事務 ■支援部門						
主管課	会計課	関連課					
分野名	行財政運営						
目標 (目標値)	審査・出納事務の適正かつ効率的な執行 (適正率 100%)						
人口等のデータ	データ区分	22年度	21年度	20年度	備考		
	人口	177,161人	176,669人	176,484人	・各年4月1日 (住民基本台帳)		
	世帯数	78,812世帯	78,131世帯	77,430世帯			
運営資源状況	事業の対象者数						
	決算値(千円)	9,406	9,699	9,941			
	(国・県)						
	(一般財源)	9,406	9,699	9,941			
	人員配置数	7.0	8.0	8.0			
	人件費(千円)	60,667	71,177	72,628			
事務事業運営経費	協働のパートナー						
	総事業費(千円)	70,073	80,876	82,569			
	市民1人当りの経費(円)	396	458	468			
	対象者1人当りの経費(円)	396	458	468			
ベンチマーク (県内外自治体や民間団体との比較値)	団体名						
指標	評価	年度	21年度	22年度	23年度	24年度	最終年度(年度)
審査・出納事務の適正な執行管理	◎	目標値	100%	100%	100%	100%	100%
		実績値	100%	100%			

中事業に含まれる小事業の評価(⇒個別事業の概要は裏面)

評価の視点	①効率性	事業費や人件費に削減余地はないか。	②妥当性	事業の目的と政策・施策体系の目標とが整合しているか。法的な根拠や公的関与の妥当性はあるか。		
	③有効性	事業の成果が得られているか。事業を休止・廃止した場合影響があるか。	④公平性	受益機会が偏っていないか。受益者負担は公平・公正か。		
小事業名	H22決算値	評価	適切=○、要改善=△(評価の視点を参照)	⇒ 方向性 A: 充実・拡大 B: 現状継続 C: 改善・見直し D: 統合縮小 E: 廃止・休止		
会計事務	9,406千円	①効率性	②妥当性	③有効性	④公平性	⇒ □A ■B □C □D □E
	事業の概要	支出負担行為の確認、支出命令書の審査等現金の出納及び保管				
		①効率性	②妥当性	③有効性	④公平性	⇒ □A □B □C □D □E
	事業の概要					
		①効率性	②妥当性	③有効性	④公平性	⇒ □A □B □C □D □E
	事業の概要					
		①効率性	②妥当性	③有効性	④公平性	⇒ □A □B □C □D □E
	事業の概要					
		①効率性	②妥当性	③有効性	④公平性	⇒ □A □B □C □D □E
	事業の概要					

中事業の評価結果

事業診断(課長評価)	
H22年度の課題	出納事務遂行上の確実性の向上及び効率化が求められている。
課題解決のための取組	課内において情報を共有し、複雑な事務に対しても課内検討、協議により共通認識を深め、適切に対応していく。
未解決の課題	指定金融機関から要望されている口座振込手数料の有料化への対応
今後の方針	口座振込手数料の有料化については、県及び他市の動向を注視し、適切に対応する。
今後の方向性	A: 充実・拡大 B: 現状継続 C: 改善・見直し D: 統合縮小 E: 廃止・休止
	⇒ B ※ □事業完了 課長名 堀 英彦

